

第 35 回北奥青少年柔道大会兼第 49 回県北地区スポーツ少年団柔道大会要項

1 趣旨

岩手県柔道界の重鎮として多大な功績を残された故・工藤常雄九段を顕彰し、その偉業を後世に伝承するとともに、柔道の発展及び青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

2 主催

北奥青少年柔道大会実行委員会

3 共催

岩手県柔道連盟、二戸市スポーツ少年団本部

4 後援

岩手県北柔道連盟、一般社団法人二戸市体育協会

5 主管

二戸市柔道協会

6 期日

令和 7 年 9 月 14 日（日） 午前 9 時 開会式（開場 7 時 30 分）

7 会場

二戸市総合スポーツセンター （〒028-6103 二戸市石切所字荷渡 22 番地 20）

8 参加対象

北奥（盛岡以北）市町村のスポーツ少年団及び小・中・高校生

9 競技

（1）試合方法

① 高校生の部 団体試合（トーナメント方式）

※1校につき男女各2チームまでとする。

② 中学生の部 団体試合（トーナメント方式）

※1校につき男女各2チームまでとする。

③ 小学生の部 団体試合（トーナメント方式）及び個人試合（トーナメント方式）

※団体試合は、小学校低学年の部（1～3年生）及び高学年の部（4～6年生）を合わせて、1団体につき最大3チームまでとする。

（2）チーム編成

① 団体試合

ア 高校生の部は各学校単位、中学生の部は各学校及びスポーツ少年団単位、小学生の部はスポーツ少年団単位でチームを編成すること。ただし、全日本柔道連盟に登録していること。

イ 中・高校生男子の部は、監督1名、選手5名、補欠3名とする。

ウ 中・高校生女子の部は、監督1名、選手3名、補欠2名とする。

エ 中・高校生は、1・2年で編成すること。なお、中学生は、体重の軽い順に配列すること。

オ 小学生低学年の部（1～3年生）は、先鋒・次鋒を2年生以下、中堅・副将・大将を3年生以下で編成すること。なお、学年順に配列し、同学年内では体重の軽い順に配列すること。

先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
2年生以下		3年生以下		
同学年内は体重の軽い順に配列				

カ 小学生高学年の部（4～6年生）は、先鋒・次鋒を5年生以下、中堅・副将・大将を6年生以下で編成すること。なお、学年順に配列し、同学年内では体重の軽い順に配列すること。

先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
5 年生以下		6 年生以下		
同学年内は体重の軽い順に配列				

キ 中学生及び高校生の部に限り、選手不足の場合は、合同チームの参加を認める。ただし、5名以内でエントリーすること。地区の制限は設けない。

ク 各部門において、選手数が満たない場合は「後ろ詰め」とする。ただし、2回戦以降に補欠補充後、負傷等により欠員が生じた場合は、申込時点のオーダーのままとする。

② 個人試合

ア 1～2年生の部、3～4年生の部、5～6年生の部の3部門とする。

イ 1団体各部門3名以内とする。

（3） 試合時間

① 高校生の部 4分（ただし、参加チーム数により「3分」とする場合がある。）

② 中学生の部 3分

③ 小学生の部 2分

（4） 選手変更

① 申込後の選手変更は認めない。ただし、団体試合において選手の負傷などやむを得ない事情により欠員が生じた場合は、令和7年9月12日（金）までに大会事務局に申し出ることにより、補欠起用後に1名を補欠に補充することを認める。

② 一度変更された選手は、以後の試合に出場できないものとする。

③ 個人試合においては選手変更を認めず、棄権扱いとする。

10 審判規定

「国際柔道試合審判規定」による。ただし、小学生の部（団体試合及び個人試合）、中学生の部（団体試合）にあつては、「国際柔道試合審判規定（少年大会申し合わせ事項）」による。

11 判定基準

（1） 団体試合

① 各試合の勝敗は、「一本」「技有」「有効」「僅差」で判定する。いずれにも該当しない場合は、「引き分け」とする。

② 「技の内容」と「指導」の重みは、「一本」＝「反則勝ち」＞「技有」＞「有効」＞「僅差（指導差2）」とする。

【チーム勝敗の決定方法】

① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

② 勝ち数が同数の場合は、「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。なお、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。

③ なおも同数の場合は、「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

④ なおも同数の場合は、「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

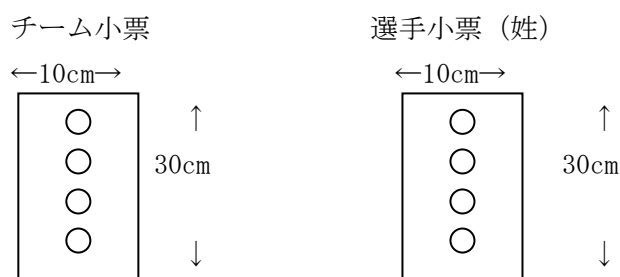
⑤ なおも同数の場合は、任意の選手による代表戦を行う。代表戦の判定基準は、団体試合と同様とするが、試合時間内で、得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は技による得点があった場合、又は、「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの指導を受けたことになる場合とする。（ただし、小学生は延長戦を行わず旗判定とする。）

(2) 個人試合

「一本」＝「反則勝ち」＞「技有」＞「有効」＞「僅差（指導差2）」で判定する。得点差がない場合は、旗判定により勝敗を決する（ゴールデンスコアは行わない）。

12 小票の提出

団体戦に参加するチームは、所属名・選手名を記載した小票を下記要領にて作成し、大会当日に受付に提出すること。



13 表彰

団体試合・個人試合とも第3位まで表彰する（3位決定戦は実施しない）。

14 参加料

無料

15 参加申込先

〒028-6192 二戸市福岡字川又 47 番地

二戸市教育委員会事務局 教育部 生涯学習課内 北奥青少年柔道大会実行委員会宛て

TEL：0195-23-3483 FAX：0195-23-9335

Mail：sports@city.ninohe.iwate.jp

16 申込期限

令和7年8月22日（金）正午 ※期限厳守

17 組合せ抽選

本大会実行委員会で行う。

18 その他

- (1) 参加者は、スポーツ傷害保険等に参加すること。
- (2) 競技中の事故については、主催者にて応急措置を行うが、その後の対応は参加団体の責任とする。
- (3) 昼食及び交通費は、自己負担とする。
- (4) 各チーム1名の審判員を帯同させること。
- (5) 中学校、高校には補助員の協力を依頼する場合がある。
- (6) 審判・監督会議を当日午前8時30分から大会本部（スポーツセンター内ステージ前）にて開催する。